

ふるさと鳥取アプリ「とりふる」再構築・運用及びプロモーション等委託業務公募型プロポーザルに係る質問への回答

番号	資料の箇所			質問事項	回答		
1	—	ふるさと鳥取アプリ「とりふる」について		<p>現行アプリについて、利用状況を教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インストール数 ・登録ユーザー数と年齢分布 ・アクティブユーザー数と年齢分布 	<p>インストール数は令和6年度末で30,414人です。</p> <p>登録ユーザー数は累計数しか把握できないため、インストール数と同数で認識しています。また、年齢分布は20歳前後と50歳前後が主な登録者と認識しています。</p> <p>アクティブユーザー数は正確に把握していませんが、登録者数の0.5%程度と認識しています。</p>		
2	2	参加資格要件	(2) 共同事業体による参加	<p>共同事業体とは、複数事業者間で協定書を結ぶだけでよく、JVのような別会社を立ち上げる必要はないと考えてよいですか。</p>	<p>協定書を結んでいただければ、別会社の立ち上げまでは必要ないです。</p>		
3				<p>参考様式の共同事業体協定書に「各構成員の出資の割合」とありますが、協定を結ぶだけで別会社を立ち上げない前提であれば、出資の割合というような金銭に係る条項をなくし、決め事だけの協定でも問題ないですか。</p> <p>例えば、「案件の開発を担当」「プロモーションを担当」のような役割分担とし、受注金額のうち見積金額に応じて分け合うという条件を想定しています。</p>	<p>別会社を立ち上げない前提であれば、出資の割合というような金銭に係る条項をなくし、決め事だけの協定でも問題ないです。</p>		
4				<p>参加申込書兼資格確認書を9/8に提出後、10月の企画提案に参加しなかった場合、何らかの罰則はありますか。参加を申し込んだが、検討の結果、応れできないと判断したケースを想定しています。</p>	<p>罰則はありません。</p> <p>もし、参加を申し込まれたが、企画提案書を提出されない場合は、その旨を電子メールと電話等で担当課へご連絡をお願いします。</p>		
5	5	企画提案書等の作成、提出等	(1) 提出書類等	イ 見積書(任意様式)	<p>企画提案書に付属する見積書の内訳としては、本委託業務の期間内だけでよいですか。もしくは、次年度を含んだ見積書となりますか。</p> <p>また、見積書の対象範囲を教えてください。(開発費、保守運用費、プロモーション費、インフラ費、LINE関連費、ポイント交換費、外部サービス費など)</p>	<p>企画提案書に付属する見積書の内訳としては、本委託業務の期間内だけでよいです。見積書の対象範囲は、アプリ開発費、LINEサービス経費、外部サービス経費、関連インフラ費、プロモーション費(ポイント交換費含む)、デザイン費、運用・保守費など仕様書に示す内容を実現いただくために必要な費用を委託料の上限額の範囲以内で計上ください。</p> <p>なお、次年度以降にかかる見積書を作成される場合は、企画提案書の提案内容のうち(5)アプリ及び運用方法の改善や(6)追加提案などで示してください。</p>	
6					<p>24,000,000円の予算内訳に関して、見積の際に細かい費目例や配分目安(人件費、サーバ/クラウド費、開発費、研修費、広報費等)は指定していますか。</p>	<p>見積の費目例は上記回答(質問番号5)を参考にしてください。配分目安の指定はありません。</p>	
7	実施要領	9	契約に関する条項	(2) 契約保証金	<p>「契約保証金として契約金額の100分の10以上の金額を納付しなければならない」とありますが、負担が大きいことから、これを免除いただくことは可能ですか。また免除いただける条件を教えてください。</p>	<p>鳥取県会計規則に基づき、契約保証金を免除することはできません。</p> <p>ただし、鳥取県会計規則第112条第4項において、次の各号いずれかに該当する場合において契約保証金の全部又は一部を納めさせないことができると規定しています。</p> <p>(1) 契約の相手方が保険会社との間で鳥取県を被保険者とする履行保証保険契約を締結したとき。</p> <p>(2) 契約権者が契約の相手方から委託を受けた保険会社、銀行、農林中央金庫その他予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号)第100条の3第2号の規定により財務大臣が指定する金融機関との間で工事履行保証契約を締結したとき。</p> <p>(3) 契約の相手方が国、他の地方公共団体その他の公共団体又は公共的団体であるとき。</p> <p>(4) 予算決算及び会計令第72条第1項若しくは第95条第1項の規定により定められた資格を有する者又は令第167条の5第1項若しくは第167条の11第2項の規定により定められた資格(これらの規定により他の地方公共団体の長が定めた資格を含む。)を有する者と契約を締結する場合において、その者が国、地方公共団体その他の法人と同種で同程度の規模であると認められる契約を締結し、過去2年間にこれを誠実に履行したと認められ、かつ、当該締結する契約を履行しないおそれがないと認められるとき。</p> <p>(5) 法令に基づき延納が認められる場合において、確実な担保が提供されたとき。</p> <p>(6) 物品を売り払う契約を締結する場合において、売払代金が即納されるとき。</p> <p>(7) 指名競争入札による契約又は随意契約を締結する場合において、契約金額が250万円を超えない額であり、かつ、契約の相手方が契約の履行をしないおそれがないと認められるとき。</p> <p>(8) その他契約の性質上契約保証金を納付させることにより、契約の締結が不利又は困難になると認められるとき。</p>	
8					5	本業務のターゲット	<p>高校生や大学生への周知について、学校や教育委員会との協力範囲はどこまで可能ですか。</p>
9		【表1】本業務のターゲット層	主な案内方法	<p>○●△▲とは何を意味しますか。</p>	<p>説明が無く、失礼しました。ターゲット層への案内の難易度を表現しています。</p> <p>●確実に案内可能 ○案内可能 △案内が難しい ▲案内がとて難しい</p>		
10	仕様書	7	業務内容	(1) 新アプリの構築	<p>新アプリに搭載必須とされている機能(①リッチメニュー②ユーザー情報登録③利用者分析④マイページ⑤自動応答⑥情報配信⑦アンケート等)に対する最低限の仕様イメージ・画面設計例などを示すことは可能ですか。(設計自由度や期待アウトプットの詳細)</p>	<p>イメージを提供することで企画提案の多様性が損なわれる可能性があるため、例示は示しません。</p> <p>方向性としては、7業務内容(1)アに示すように、「継続的に新アプリを利用してもらう」「就職や移住を支援する機能を核とする」「ターゲットに合わせて気軽にスマートフォンで触れてもらえるツール」「視覚的表現、UI操作性にも配慮」「若者の生き方を支援する施策の象徴となるようなブランディング形成にも意識を向ける」「登録者をセグメント分けし、登録者が求める情報や機能を提供(マッチング)ができる」といった点を重視しています。</p>	
11					<p>仕様書に記載されている「新アプリ」という用語は下記の内どれを指しますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GoogleストアやAppleストア等に公開しているような利用者がインストールしにくいアプリ(現在のとりふるアプリのイメージ) ・LINEアプリ上で動くLINEミニアプリ ・LINE公式アカウント <p>今回の提案は上記3つを含めてどれでも良いのか、もしくは指定があるのか教えてください。</p>	<p>LINEアプリ上で動くLINEミニアプリ又は公式LINEアカウント又は両方の機能をベースとしたシステムを指しています。</p>	
12					ア-(オ)	<p>2026/3/31に竣工するプロジェクトであることから「効果測定」「企画の改善」を完遂することが非常に困難と見込みます。運用コスト・体制が必要となることから本調達外に別途保守委託契約の締結を行う必要があると考えますが検討頂くことは可能ですか。</p>	<p>「効果測定」や「企画の改善」は今年度事業で完結するものではなく、次年度以降も継続して運用していく中でのコンセプトです。この点を達成するためのご提案(次年度以降の運用コスト・体制等も含む)を企画提案書に記載ください。</p>
13						<p>現行アプリで提供している情報との連携方法について、各情報にAPI連携など完備されていますか。無い場合、CSVなどで随時一括でアップデートできますか。</p>	<p>【質問番号14、22】の回答をご覧ください。</p>
14					ア-(カ)	<p>「発信する情報は現行アプリで提供している移住、就職、生活とそれに関するイベント情報から登録者にとって必要な内容を抽出・・・」とありますが現行アプリはサービスを継続しますか。その現行アプリから、データを抽出できるようなAPIなどが提供されますか？</p> <p>それとも、現行アプリにデータを提供している、その他のデータソースからの抽出をイメージしていますか。またデータソースはとりふる2.0からデータを抽出できるような仕組みがあるという理解で良いですか。</p> <p>「必要な内容」を決めるのは誰ですか。</p>	<p>現行アプリは令和8年3月にサービスを終了する予定です。現行アプリでは一部の利用者情報がありますが、精緻な情報ではないためデータの抽出、移行は予定していません。</p> <p>現行アプリは就職や移住を支援する別サイトとリンクしており、別サイトに登録者情報を保存しています。今後は別サイトの登録者情報と新とりふるの登録者情報を一元化する検討も視野に入れています。</p> <p>「必要な内容」は受託者にご提案いただきながら、受託者や委託者が指定するアプリの運用を行う関係者を交えた協議の上、委託者が決めます。</p>
15					イ-(ケ)	<p>アカウントとの連携方法はどのような想定ですか？</p> <p>SNSアカウントとOAuthなど通じてリアルタイムに共有するか、もしくはリンクを埋め込んでユーザーが相互にアクセスできる程度ですか。</p>	<p>OAuthなど通じてリアルタイムに共有するイメージではなく、最低限はリンクを埋め込む程度のイメージです。理想としては、仕様書7業務内容(1)ウ⑥の内容と関連しますが、現在SNSを含めて様々なWEB媒体に就職支援や移住に関連する情報が散らばっていますので、利用者が必要とする情報(必要であろうと推測する情報)を抽出して届ける手法をご提案いただくと幸いです。</p>
16					ウ-①	<p>セグメントごとのリッチメニューの機能は決まっていますか。</p>	<p>決まっておりません。</p> <p>ご提案いただき、委託者と協議の上、決めさせていただきます。</p>
17						<p>リッチメニュー画像は共通で、タップ時のアクションが分かればよいですか、セグメントごとに画像自体異なりますか。</p>	<p>リッチメニューの画像は機能毎に同じ画像をイメージしています。タップ時のアクションが分かればよく、セグメント毎に画像を変える必要はないと考えます。</p>
18					ウ-②	<p>単にウェブ画面を用意すればよいですか、QRコードなど、利用にあたり必要な要素がありますか。</p>	<p>イベント開催において、参加者が参加申込みや当日参加受付、アンケート回答などがしやすいこと、運営者が参加者受付やアンケート集計、事後の案内がしやすいことを実現しやすい仕組みを期待しています。</p> <p>QRコード発行を一案として認識していますが、他の良案があればご提案をお願いします。</p>
19					ウ-④	<p>どのような場合にどんなポイントを付与し、得られたポイントを消費して利用するサービスなど決まっているもの(想定を含む)はありますか。</p>	<p>決まっていることはポイント付与機能と構築することのみなので、どんなポイントを付与し、得られたポイントを消費して利用するサービスをご提案ください。</p> <p>参考までに現行アプリは、主に就職や移住に関連するイベントに参加したり、委託者が協力を求めるアンケートに回答した場合にポイントを付与しています。得られたポイントは電子マネーに換金し、利用できるサービスを行っています。</p> <p>新アプリでも最低限、現行アプリと同様のケースにポイントを付与する想定ですが、利用できるサービスは換金できることを必須とは考えていません。</p> <p>ポイント機能の目的は、新アプリのターゲット層の方々がアプリ登録のきっかけになったり、継続的に利用する動機の一つになったりすることを期待するものです。</p>
20			<p>現行アプリからのポイント移行は必要ですか。</p>	<p>現時点で旧アプリからのポイント移行は予定していません。</p>			

21	仕様書	7 業務内容	(1) 新アプリの構築	ウ-⑤	自動応答機能はAIチャットボットのようなAI対応を想定されていますか。または、単なる定型文によるFAQ応答を想定されていますか。LINEトーク画面上での返答のみですか。⑥のシステム内のチャット機能にも必要ですか。	AI対応またはFAQ応答のどちらかに限定していません。 自動応答機能の目的は利用者がWEB上にあるサービスや情報を自ら探せない場合に、できるだけ少ないストレスで求めるサービスや情報へ誘導できることを期待するものです。 ⑥情報配信機能に示すチャット機能と統合させ、管理者でなければ回答できない質問対応のみチャット対応する方法で構いません。
22				ウ-⑥	仕様書の構築する機能にある「情報配信機能」について、「委託者や（公財）ふるさと鳥取県定住機構の既存のコンテンツやインタビュー記事等のデータからセグメント毎に求められる情報や機能をピックアップして配信すること」とありますが、これは関連するサイトからAPIまたはCSVでの情報提供をいただける前提で、これを配信データの候補として用いる、という解釈でよいですか。	現行アプリでは、API連携またはCSV連携等で既存コンテンツと連携していません。そのため、新アプリではAPI連携またはCSV連携等での連携方法と手配も含めてご提案いただきたいです。
23					既存インタビュー記事や教材等の二次利用は可能ですか。	可能ですが、一部利用できないものもあります。利用できないものについては、委託者が関係者に確認して判断します。
24			(2) 運用及び保守管理		本委託業務において保守運用以外に、管理画面などを操作して県または外郭団体が担当する作業の想定があれば教えてください。	基本的には、セグメント別の登録者に対してのイベント情報などのお知らせ配信やチャット等による問合せ対応、ポイント利用の対応を想定しています。ご提案いただく機能によっては作業が追加されるものと考えています。
25			ウ 保守管理		保守対応の「必要に応じて担当者が直接訪問し、相談に応じること。」とされているが、それに伴う負担・経費計上はどこまで認められますか。	状況によりですが、受託者負担でお願いしたいです。ただし、基本的には、電話やメール、オンライン会議での対応で十分であると考えています。
26					既存インタビュー記事や教材等の二次利用は可能ですか。	上段（質問番号23）で回答しています。
27			(3) 登録及び利用促進に向けたプロモーション	ア	「エンタメ性を考慮する事」とありますが、LINEスタンプ配布自体はプロモーションとして必須ですか。また、その費用は委託業務の受注金額に含まれますか。	LINEスタンプ配布はプロモーションとして必須ではありません。ターゲット層が関心を示すであろうと委託者が考えるプロモーションの例として示したもので、より良い方法があればご提案ください。費用は委託業務の受注金額に含めてご提案をお願いします。
28					アWebを利用したプロモーション（ア）に、LP構築等と記載のあるように、Webサイトへのページ準備・運用は事業者側での所掌範囲という認識ですか。あるいはLP自体は鳥取県のHPに作成することは可能ですか。	LP構築は新アプリへの誘導など利用者の利便性向上の手法例と示したもので必須ではありません。LPを構築いただく場合は、受託者にWebサイトへのページ準備・運用をお願いします。委託者（鳥取県）や関係機関のWEBサイト内に作成することも調整の上、可能です。
29					LINEスタンプ作成で、鳥取県のキャラクターの「トリピー」など利用することは可能ですか。	「トリピー」の利用は可能ですが、デザイナーの承諾を得ること、既存のデザインを変えないこと、無料配布すること（販売しないこと）等の条件があります。なお、既存のデザインを変更したり新たに制作する場合はデザイナーとの協議や委託が必要です。
30					ローカルメディア広告出稿の範囲に条件はありますか。（TVCMは必須や、SNSのみで良い、など）	ローカルメディアを活用しながら、ターゲット層である学生やその保護者へ効果的に伝わる方法をご提案いただきたいです。
31		ローカルメディアを活用したプロモーションに関して、鳥取県においてローカルメディアとの連携を支援いただくことは可能ですか。			必要に応じて委託者から連携の支援は可能です。	
32		8 業務スケジュール		新アプリ運用開始が2/18までとなっていますが、現行アプリとの併用運用は3月末までと考えてよいですか。	併用運用の期間は調整中です。現行アプリは令和8年3月末まで運用予定ですが、具体的な運用終了日が確定しましたら公表します。	
33				現行アプリから新アプリへのデータ移行は本委託業務の範囲に含まれますか。または、現行アプリから新アプリへの導線だけを留意して、現行アプリユーザももう1回新規入力してもらって運用になりますか。	データ移行はなく、現行アプリから新アプリへの導線を用意して、現行アプリユーザに新規入力してもらって運用になります。	
34				調達公告の「1 2スケジュール」で、「(11) 若者メンバー意見交換や県教委との調整令和7年10月中～下旬」とありますが、具体的な調整内容の想定を教えてください。また、これは提案に対する仕様決定の機会であると考えてよいですか。この期間で合意できるような内容ですか。（この期間の超過により実質開発期間が短くなることを想定しています。）	若者メンバー意見交換では、受託者の提案内容を共有した上でより良いツールとするために利用者の意見を聞くことを想定しています。委託金額を変えず、仕様を大きく変えない範囲で受託者が対応できることがあれば取り入れ、必要であるが今年度の対応が困難な内容については次年度以降の対応を検討したいと考えています。 県教委との調整については、高校生への広報手段や時期についての調整を想定しています。	
35				1 0 対象経費	要件の中に「ポイント付与機能」がありますが、このポイントを「何らかのギフトカードや物品と交換する事」は委託期間の業務に含まれますか。もしくはポイント付与だけが今回範囲で、ポイント交換は次年度範囲になりますか。またこのポイント交換に要する費用は委託業務の受注金額に含まれますか。	得られたポイントを消費して利用するサービスは委託期間に行わなくても構いませんが、ポイント機能の目的は、新アプリのターゲット層の方々がアプリ登録のきっかけになったり、継続的に利用する動機の一つになったりすることを期待するものなので、必要に応じてご提案ください。 ポイント付与機能の構築は今年度の業務として委託期間内に構築をお願いします。今年度で得られたポイントを消費して利用するサービスを開始する場合は、ポイント交換に要する費用を受注金額に含めてご提案ください。 なお、上記回答（質問番号19）も参考にしてください。
36		1 3 再委託		再委託を承認しない条件として「本業務の中核となる部分が含まれている場合」とありますが、「開発」「プロモーション」「運用保守」といった分担とした場合「開発」を再委託する場合は承認されますか。	「開発」を仕様書7「業務内容」における（1）LINE情報発信等機能の構築と解釈した場合、「本業務の中核となる部分」となる可能性があります。ただし、特段の理由がありやむを得ないと発注者が判断した場合はこの限りではありません。また、共同事業体であれば再委託を回避できることが考えられます。	
37				再委託を承認しない条件として「再委託の契約金額が委託料の上限額の50パーセントを超える場合」とありますが、この「委託料の上限額」とは仕様書の「3 委託料の上限額」にある2400万円のことと考えてよいですか。	この文中の、委託料の上限額とは、契約を締結した委託者との契約金額のことを指し、仕様書の「3 委託料の上限額」は予算額のことを示しています。分かりにくく、失礼しました。	
38		評価要領	3 審査項目及び配点（100満点）	3 価格点（配点10点満点）	価格点の計算式について、「10点×（最低見積（想定）額/提案者見積（想定）額）」とありますが、最低見積想定額というのは予算額ではなく、公表されていない数字と考えてよいですか。	最低見積（想定）額とは、複数の提案者の中で最も低い見積額のことを差します。 (例) A社：100万円、B社：50万円、C社：75万円の場合、A社の価格点は10点×(B社50万円/A社100万円) = 5点という採点となります。